

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

森田明彦

開催月日	令和7年4月24日(木)		
開催時間	14:00~16:30		
開催場所	松山市 松山総合コミュニティセンター		
主催者	地方議員研究会		
研修会等の名称	財政問題の取り上げ方		
講師等の氏名等	宮本正一 日本公共経営研究所代表 元 寝屋川市議会議長		
内容・結果等	財政を見る観点の概要		
	地方自治体の財政が厳しい現状を指摘され、特に少子高齢化や人口減少が大きな原因で		
	これにより、税収が減る一方で医療や介護などの社会保障費が増え、財政のバランスが崩		
	れていると指摘。		
	無駄を省き、効率的な行政運営を進めるには、地方自治体だけでなく国全体で財政の見直		
	しや、将来を見据えた計画的な財政運営が重要で、地域の特性を生かした産業振興や人		
	口維持策も必要で、持続可能な財政運営には、効率化と地域の活性化を両立させる事が		
	大切。		
	実例として、夕張市の財政破綻を紹介され、破綻の背景と構造について、交付税依存の強		
	化と歳入見通しの甘さ、また、住民サービスを維持したまま借金で穴埋めや第三セクター		
(観光施設・スキー場等)の連続赤字がH13年から続いたが、議会も住民(監査人)も警告			
指標を見過ごし、先送りした結果であったと指摘された。			
感想 今回、嬉野市の他、他市の決算カードも事前に準備され、ポイントは収支の balan			
s、歳入の増減、借金や将来負担の見通しなど、地方交付税や自主財源をもとに自治体が			
どれだけ自力で財政運営できるかを示し、R5年度の嬉野市財政力指数は1.0未満であり、			
依存度が高い自治体と捉え、議会も注視していく必要がある。			
上記活動に要した経費	経	費	支 払 先 金 額
	前ページと同じ		
	合 計		